

月	単元名	時数	評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	ココアはいくつ	2	・問題解決の進め方を理解している。	・問題の条件に着目し、題意に合う式を筋道を立てて考えたり表現したりしている。	
	1. 表とグラフ	4	・身のまわりにある数量を分類整理し、簡単な表やグラフを用いて表したりよみ取ったりすることができる。＜知・技＞	・データを整理する観点に着目し、身のまわりの事象について表やグラフを用いて考察している。＜思・判・表＞	・データを整理することに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
	2. たし算	9	・2位数＋2位数の計算が、1位数などについての基本的な計算をもとにしてできることや、その筆算のしかたについて理解し、加法の計算が確実にできる。また、加法に関して成り立つ性質について理解している。＜知・技＞	・数量の関係に着目し、計算のしかたを考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。＜思・判・表＞	・加法の計算に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
5	3. ひき算	9	・2位数－2位数の減法の計算が、1位数などについての基本的な計算をもとにしてできることや、その筆算のしかたについて理解し、減法の計算が確実にできる。また、減法に関して成り立つ性質や、加法と減法との相互関係について理解している。＜知・技＞	・数量の関係に着目し、計算のしかたを考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。＜思・判・表＞	・減法の計算に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
	4. 長さ	8	・長さの単位「cm、mm」について知り、測定の意味と単位の間接を理解し、長さについておよその見当をつけ単位を適切に選択して測定することができる。＜知・技＞	・身のまわりのものの特徴に着目し、目的に応じた単位で長さを的確に表現したり、比べたりしている。＜思・判・表＞	・長さを比べたり測定したりすることに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき、生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
6	5. 100より大きい数	10	・3位数までについて、十進位取り記数法による数の表し方、数の大小や順序、及び数の相対的な大きさについて理解している。また、簡単な場合について、3位数などの加法及び減法の計算ができる。＜知・技＞	・数のまとまりに着目し、大きな数の大きさの比べ方や数え方を考え、日常生活に生かしている。また、簡単な場合について、3位数などの加法及び減法の計算のしかたを考えている。＜思・判・表＞	・数を表すことに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
	たし算とひき算の図	2	・加法、減法の問題場面をテープ図や式に表すことができる。	・加法と減法の相互関係をもとに、テープ図の見方やかき方を考えている。	
	6. たし算とひき算	9	・2位数＋1・2位数＝百何十何の加法及びその逆の減法や、百の位への繰り上がりのない3位数＋1・2位数、百の位からの繰り下がりがない3位数－1・2位数の筆算のしかたを理解し、加法及び減法の計算が確実にできる。また、（ ）の意味や用い方について理解している。＜知・技＞	・数量の関係に着目し、計算のしかたを考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。＜思・判・表＞	・加法及び減法の計算に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
7	何人いるかな	1		・順序数の加法の場面を図などを用いて表し、計算のしかたを考えている。	
	7. 時こくと時間	4	・時間の単位「日、時、分」について知り、それらの関係を理解している。 ＜知・技＞	・時間の単位に着目し、時刻や時間を日常生活に生かしている。＜思・判・表＞	・時刻と時間を表すことに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
	筆算をつくろう	1		・筆算のしくみをもとに、決められた枚数の数字カードを使って正しい筆算の作り方を考えている。	
	予備	4			

月	単元名	時数	評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
9	8. 水のかさ	7	・かさの単位「L、dL、mL」について知り、測定の意味と単位の間係を理解し、かさについておよその見当をつけ単位を適切に選択して測定することができる。 ＜知・技＞	・身のまわりのものの特徴に着目し、目的に応じた単位でかさを的確に表現したり、比べたりしている。＜思・判・表＞	・かさを比べたり測定したりすることに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき、生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
	ロボットレース	1	・ものさしを用いて直線を作図することができる。		
	9. 三角形と四角形	9	・三角形や四角形、長方形、正方形、直角三角形について理解し、紙を折って構成したり、格子点を使って作図したりすることができる。＜知・技＞	・三角形や四角形の辺や頂点に着目し、構成のしかたを考えるとともに、身のまわりのものの形を三角形や四角形、長方形、正方形、直角三角形として捉えている。＜思・判・表＞	・三角形や四角形に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき、生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
	タングラム	1	・身のまわりのものの形を図形として捉え、三角形や四角形を組み合わせて構成することができる。		
10	1 0. かけ算	20	・乗法の意味や式について理解し、1位数と1位数との乗法の計算が確実にできる。（5、2、3、4の段）＜知・技＞	・数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。＜思・判・表＞	・乗法の計算に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
11	九九であそぼう	2	・2の段から5の段までの九九が確実にできる。		
	1 1. かけ算九九づくり	18	・乗法の意味や式について理解し、1位数と1位数との乗法の計算が確実にできる。（6、7、8、9、1の段）＜知・技＞	・数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。＜思・判・表＞	・乗法の計算に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
12	九九ジグソーパズル	1		・九九ジグソーパズルの解決のしかたを、九九表における答えの並び方に着目して考えている。	
	1 2. 長いものの長さ	5	・長さの単位「m」について知り、単位の間係を理解し、長さについておよその見当をつけ単位を適切に選択して測定することができる。＜知・技＞	・身のまわりのものの特徴に着目し、目的に応じた単位で長さを的確に表現したり、比べたりしている。＜思・判・表＞	・長さを比べたり測定したりすることに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき、生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
	数をあらわそう	1		・1つの数を多面的に捉え、ほかの数の和や差、積とみて式で表したり、図や絵で表したりしている。	
	予備	5			
1	1 3. 九九の表	6	・乗法に関して成り立つ簡単な性質について理解している。また、簡単な場合について、2位数と1位数との乗法の計算のしかたを知っている。＜知・技＞	・数量の関係に着目し、計算に関して成り立つ性質を見いだすとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。＜思・判・表＞	・乗法に関して成り立つ性質を見いだすことに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
	1 4. はこの形	5	・長方形や正方形の面で構成される箱の形について理解し、それらを構成したり分解したりすることができる。＜知・技＞	・図形を構成する要素に着目し、構成のしかたを考えているとともに、身のまわりのものの形を図形として捉えている。＜思・判・表＞	・箱の形に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき、生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞

月	単元名	時数	評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
2	1 5. 1 0 0 0 より大きい数	7	・4位数までについて、十進位取り記数法による数の表し方、数の大小や順序、及び数の相対的な大きさについて理解するとともに、簡単な事柄を分類整理し、それを数を用いて表すことができる。また、何百の加法の計算ができる。＜知・技＞	・数のまとまりに着目し、大きな数の大きさの比べ方や数え方を考え、日常生活に生かしている。また、百を単位としてみて、何百の加法の計算のしかたを考えている。＜思・判・表＞	・数を表すことに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
	数のめいろ			・決められた和になる数の選び方を筋道を立てて考えている。	
	1 6. 図をつかって考えよう	5	・加法と減法との相互関係について理解するとともに、問題場面を図や式に表すことができる。＜知・技＞	・逆思考の問題場面について、図に表したり、図と式を関連づけたりして解決のしかたを考えている。＜思・判・表＞	・問題場面を図に表すことに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
	1 7. 1 を分けて	6	・1/2、1/3など簡単な分数について知っている。＜知・技＞	・もとの大きさに着目して、分数の大きさを捉えたり表現したりしている。＜思・判・表＞	・分数に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
3	お楽しみ会で算数	1	・日常の場面から算数の問題を見だし、文章題を解いたり問題を作ったりすることができる。		
	算数を使って考えよう	1		・日常の場面から算数の問題を見だし、グラフや九九などの学習を活用して解決したり、言葉や図、式などを用いて説明したりするなど、算数の学習を活用して考え表現している。	
	2 年のまとめ	4	・第2学年の学習内容について、知識及び技能を身につけている。		
	予備	4			